

第156期報告書

2023年4月 1日から
2024年3月31日まで

株主の皆様へ



代表取締役会長兼CEO

大坪 清

株主の皆様には、ますますご清栄のことと拝察申しあげます。平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申しあげます。

当社第156期連結会計年度(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の事業の概況につきまして、ご報告申しあげます。

(1) 事業の経過および成果

当連結会計年度のわが国経済は、物価上昇、円安などさまざまな課題に直面しましたが、新型コロナウイルス感染症の5類移行や政府による各種政策効果もあり、人流の増加、輸出や企業収益を背景とした設備投資の持ち直し等により緩やかな回復基調が続きました。

このような経済環境の中で、板紙業界におきましては、段ボール需要の減少、低調な輸出も相まって、生産量は前年を下回りました。

段ボール業界におきましては、通販・宅配分野は好調を維持したものの、幅広い分野で需要が低迷し、生産量は前年を下回りました。

紙器業界におきましては、ギフト関連市場の縮小は続いていますが、人流増に伴う需要やPOPなど展示品、販促物向けの回復により、生産量は前年並みとなりました。

軟包装業界におきましては、インバウンドやイベント需要が回復する一方で、物価高による節約志向の影響もあり、生産量は前年を下回りました。

重包装業界におきましては、中国をはじめとする世界的な景気後退の影響を受けて石油化学関連の需要が減少し、生産量は前年を下回りました。

以上のような状況のもとで、レンゴーグループは、再生産可能な価格体系に向けての取組みを推し進めるとともに、あらゆる産業の全ての包装ニーズをインノベーションする「ゼネラル・パッケージング・インダストリー」= GPI レンゴーとして、営業力の強化、積極的な設備投資やM&A等を通じ、業容拡大と収益力向上に鋭意取り組んでまいりました。

なお、物流費や労務費の上昇、環境対策や労働環境改善のための設備投

資等、バリューチェーン全体にわたるコスト構造の変化に対して自社努力だけでは抗し難い状況となったことから、段ボール、紙器製品について本年4月納品分からの価格改定に取り組んでいます。

昨年8月、朋和産業株式会社(千葉県船橋市)が株式会社山羊社(東京都大田区)と丸福株式会社(石川県白山市)の水性フレキソ印刷事業を統合・一元化し多様化する軟包装製品のニーズに対応する体制を整備するとともに、10月には、紙器事業の経営効率の向上と競争力の強化を図るため富士包装紙器株式会社(滋賀県蒲生郡日野町)と丸福株式会社が合併(新社名:富士丸福株式会社)しました。本年1月には、愛媛東温工場(愛媛県東温市、松山工場を移転)の操業を開始し段ボール事業の一層の強化を図り、4月には、軟包装事業における一貫体制の拡充を目指しサン・トックス株式会社(東京都台東区)と三井化学東セロ株式会社(東京都千代田区)のパッケージソリューション事業を統合して子会社化(新社名:アールエム東セロ株式会社)しました。

また、大興製紙株式会社(静岡県富士市)が事業ポートフォリオの見直しに着手、バイオベンチャー企業である株式会社Biomaterial in Tokyo(福岡県大野城市、本年4月に子会社化)と提携し、国際航空分野で需要が高まるSAF(持続可能な航空燃料)の原料となる第二世代バイオエタノールの生産実証事業を開始しました。

海外におきましては、昨年4月、トライコー社(ドイツ)が最先端技術を駆使した新工場の建設を決定するとともに、5月には、トライウォール社(香港)が中国に設立した新会社において営業運転を開始、10月にはスペインを中心にポルトガル、モロッコにも事業を展開するジェコインサ社を子会社化するなど、重量物包装資材事業の一層の拡充に取り組みました。また、同月、インドの段ボールメーカーであるヴェルヴィン・コンテナーズ社の株式を取得(新社名:ヴェルヴィン・レンゴー・コンテナーズ社)し、グローバル戦略のさらなる充実を図りました。

ESG経営における環境への取組みは、“Less is more.”をキーワードに掲げるレンゴーグループとして最も優先すべき課題であり、2030年度におけるCO₂排出量削減目標「2013年度比46%削減」(エコチャレンジ2030)に向け、石炭使用ゼロを実現すべく、2026年に金津工場(福井県あわら市)、2027年には丸三製紙株式会社(福島県南相馬市)の燃料をLNGに転換します。

また、国際的イニシアティブであるSBTi(Science Based Targets initiative)から東京証券取引所プライム市場における国内製紙会社で初めてとなるSBT(パリ協定が求める水準と整合した企業が設定する温室効果ガス排出削減目標)認定を取得しました。

この結果、当連結会計年度の売上高は900,791百万円(前期比106.5%)、営業利益は48,855百万円(同188.2%)、経常利益は47,984百万円(同167.3%)、親会社株主に帰属する当期純利益は33,025百万円(同161.7%)となりました。



当連結会計年度におけるセグメントの概況は、次のとおりであります。

【板紙・紙加工関連事業】

板紙・紙加工関連事業につきましては、販売量の減少はありましたが、製品価格の改定により増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は510,945百万円(同105.6%)、営業利益は34,966百万円(同244.3%)となりました。

主要製品の生産量は、次のとおりであります。

(板紙製品)

板紙製品につきましては、段ボール需要の減少により、生産量は2,427千t(同96.2%)となりました。

(段ボール製品)

段ボール製品につきましては、幅広い分野で需要が低迷し、生産量は段ボール4,217百万㎡(同97.3%)、段ボール箱3,531百万㎡(同97.9%)となりました。

【軟包装関連事業】

軟包装関連事業につきましては、製品価格の改定が寄与し増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は121,278百万円(同105.0%)、営業利益は4,770百万円(同159.7%)となりました。

【重包装関連事業】

重包装関連事業につきましては、石油化学関連需要の減少により減収減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は44,348百万円(同98.4%)、営業利益は906百万円(同80.6%)となりました。

【海外関連事業】

海外関連事業につきましては、連結子会社が増加したこと等により増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は189,177百万円(同113.7%)、営業利益は6,781百万円(同112.8%)となりました。

【その他の事業】

その他の事業につきましては、運送事業の採算悪化等により減収減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は35,041百万円(同99.1%)、営業利益は1,162百万円(同87.4%)となりました。

当連結会計年度におけるその他の概況は、次のとおりであります。

〈CSR(企業の社会的責任:Corporate Social Responsibility)〉

レンゴグループは、板紙・段ボール業界のリーディングカンパニーとして、コンプライアンスのさらなる徹底と企業価値の向上を図るため、CSR委員会のもとに設置された6つの委員会(倫理、環境、安全衛生、CS(顧客満足)、広報、情報セキュリティ)を中心に、全てのステークホルダーの皆様の信頼に応えられる企業集団を目指した活動を積極的に推進してまいりました。

(2)設備投資の状況

当連結会計年度につきましては、板紙・紙加工関連事業を中心に総額73,833百万円の設備投資を実施いたしました。

(3)資金調達の状況

当連結会計年度につきましては、借入金の返済資金およびM&A資金の一部に充当するため、2023年12月に国内無担保普通社債200億円を発行いたしました。

(4)対処すべき課題

今後のわが国経済は、雇用・所得環境が改善に向かう中で各種の政策効果も相まって緩やかな回復が続くことが期待される一方で、国際社会における地政学リスクの高まりや世界的な金融引締め、中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気を下押しする可能性があります。

こうした状況の中、レンゴグループは、自らデザインし新たな市場を開拓する「パッケージプロバイダー」としての使命を胸に、世界でベストワンの総合包装企業集団を目指し、創業115周年を迎える2024年度を最終年度とする中期ビジョン「Vision115」の達成に向け、全てのコア事業において収益基盤のさらなる強化を図ってまいります。

あわせて、人本主義(人間中心主義)を企業経営の柱に据え、全要素生産性の向上を図ることにより生み出される付加価値を従業員に適切に分配し次の成長につなげる「成長と分配の好循環」を持続的に実現するとともに、SDGsを見据え、DXにも積極的に取り組みながら、環境負荷の低減、働き方改革の推進、パートナーシップ構築宣言に基づく適正な取引、法令遵守をはじめとするESG経営をさらに前進させることにより、事業活動を通じて企業の社会的責任を果たしてまいります。

レンゴグループは、社会における自らの果たすべき役割を自覚し、より良い社会、持続可能な社会の実現のために、たゆみない努力を続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

トピックス

GPIレンゴグループの事業基盤を強化

アールエム東セロの子会社化と愛媛東温工場の稼働開始

アールエム東セロの子会社化

本年4月、軟包装事業の一貫体制の拡充を目指し当社子会社サン・トックス株式会社と三井化学東セロ株式会社のパッケージソリューション事業を経営統合して子会社化（新社名：アールエム東セロ株式会社、当社出資比率51%）しました。同社は、ポリオレフィン系フィルムや発泡シートのフロントランナーとして供給体制の充実、開発力の強化を図るとともに、当社グループにおける軟包装事業の一層の発展を推進してまいります。



青果物における包装フィルムの使用例

愛媛東温工場が稼働開始

本年1月、松山工場（愛媛県松山市）の移転先として建設を進めていた愛媛東温工場（愛媛県東温市）が稼働を開始いたしました。同工場は、松山自動車道東温スマートインターチェンジから約200mと物流環境に恵まれており、四国全域における当社グループの連携と供給体制の一層の強化が期待できます。また、太陽光発電設備およびLNGサテライト設備などを導入し、環境目標「エコチャレンジ2030」に掲げるCO₂排出量削減に取り組むとともに、デジタル技術の活用により生産性の向上を目指してまいります。包装ニーズに確かな品質でお応えするのももちろんのこと、環境に配慮したパッケージづくりで、四国経済の豊かな未来に貢献してまいります。

会社概要

本社所在地 東京都千代田区神田美土代町7 住友不動産神田ビル
代 表 者 代表取締役社長執行役員 松坂 繁治
代表取締役副社長執行役員 飯嶋 克孝
資 本 金 3,450百万円
事 業 内 容 包装用プラスチックフィルム、発泡シートの製造・販売
従 業 員 数 約1,200名



浜松工場外観



愛媛東温工場外観

工場概要

所 在 地 愛媛県東温市田窪610-5 田窪工業団地
敷地面積 64,966㎡
事業内容 段ボールシート、ケースの製造・販売



グループ企業の動き

トライコー社（ドイツ）が新工場建設

トライコー社は、拡大する重量物包装の需要に対応するため、ドイツ北西部ノルトライン＝ヴェストファーレン州に来年7月の完成を目指して新工場を建設しています。同工場は、最先端技術を駆使してさらなるオートメーション化を推し進めるとともに、より環境に配慮した工場として設計されています。新工場の建設により供給体制の充実を図るとともに、幅広い包装ニーズに迅速にお応えし、重量物包装事業のさらなる拡充を推進してまいります。



新工場完成予想図

新工場概要

所在地 Gocher Grenzweg, 47574 Goch, Germany
敷地面積 約166,000㎡
事業内容 重量物段ボールシート、ケースの製造・販売
完工予定 2025年7月

●その他の主な動き（国内）

2023年 8月 朋和産業株式会社が株式会社金羊社と丸福株式会社の水性フレキソ印刷事業を統合・一元化
2023年10月 富士包装紙器株式会社と丸福株式会社が合併（新社名：富士丸福株式会社）
2023年11月 山陽自動車運送株式会社が株式会社オアシスおよび株式会社オアシスエクスプレスを子会社化

インドで段ボール合併会社が操業開始

昨年10月、インドにおける段ボールメーカーであるヴェルヴィン・コンテナーズ社の株式の30%を取得しました（新社名：ヴェルヴィン・レンゴー・コンテナーズ社）。同社はインド南部での事業展開を目指し、タミル・ナードゥ州・チェンナイ近郊に段ボール工場の建設を進めていましたが、本年3月に操業を開始しました。同社への資本参加により国内外グループ会社とのシナジーを生み出し、グローバル戦略のさらなる充実を図ってまいります。



会社概要

本社所在地 インド マハラシュトラ州 ムンバイ
工場所在地 インド タミル・ナードゥ州 チェンナイ SIPCOT工業団地
代表者 Vincent Mathias
事業内容 段ボールシート、ケースの製造・販売

2024年 4月 大和紙器株式会社と日東紙器工業株式会社が合併
マタイ紙工株式会社と立川段ボール工業株式会社が合併

●その他の主な動き（海外）

2023年 5月 トライウォール社（香港）が中国・四川省に設立した新会社において営業運転を開始
2023年10月 トライウォール社（香港）がジェコインサ社（スペイン）を子会社化

トピックス

環境負荷低減への取り組み

第二世代バイオエタノール生産実証事業を開始

本年2月、大興製紙株式会社は、株式会社Biomaterial in Tokyoと提携し、持続可能な航空燃料（SAF：Sustainable Aviation Fuel）の原料となる第二世代バイオエタノールの生産実証事業を開始しました。株式会社Biomaterial in Tokyoは微生物や酵素を用いる技術を研究しているバイオベンチャー企業で、本年4月に当社の子会社となりました。本実証事業は国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成および委託を受け実施し、2027年までに年間2万klのバイオエタノール生産を目指しています。バイオエタノールは、販売先の燃料事業者においてSAFに転換され、航空燃料として使用される予定です。当社グループは、環境負荷低減につながる製品の開発や再生可能エネルギーの利用拡大に向け、今後も取り組みを推し進めてまいります。

大興製紙株式会社 会社概要

所在地 静岡県富士市上横割10

資本金 450百万円

事業内容 クラフトパルプ、クラフト紙および特殊紙の製造・販売ならびにリサイクル事業

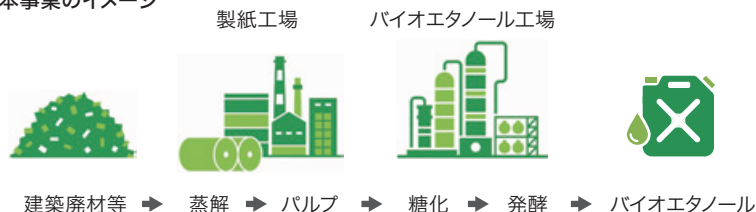
株式会社Biomaterial in Tokyo 会社概要

所在地 福岡県大野城市川久保1-3-22

資本金 75百万円

事業内容 バイオマスに関する技術開発、製品製造、コンサルティング業務

本事業のイメージ



SBT認定取得

本年1月、国際的イニシアティブである Science Based Targets initiative（SBTi）から「1.5℃水準」のSBT認定を取得しました。今回のSBT認定取得により、当社の2030年を目標とするグループ全体の温室効果ガス削減目標が、パリ協定が求める目標（産業革命前からの気温上昇を1.5℃に抑える）と整合し、気候科学に基づく「共通基準」で評価・認定されたことになります。当社グループは、石炭使用の全廃、バイオマスボイラ

の新設、太陽光発電設備の導入、設備更新による省エネの推進等による温室効果ガス排出量削減に取り組んでまいります。





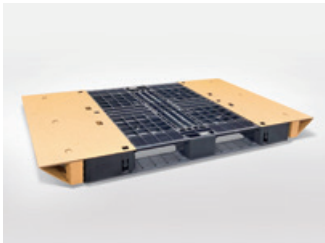
パッケージング・イノベーションに関する動き

「ワールドスター賞」を受賞

使いやすさやデザイン、環境面への配慮などを競う、世界包装機構 (WPO: World Packaging Organisation) 主催の「ワールドスターコンテスト 2024」において、2 作品が受賞いたしました。

●段ボール製エキスパンダー ～規格パレット拡張術～

アジア市場で標準サイズとされる 1,200mm×1,000mm の樹脂製パレットに、追加部材を装着することでパレットサイズを必要な大きさに拡張できます。



●ピザハットトリックBOX ハットスタジアムBOX

組み立てるとスタジアムの形になるなど、アフターユースできる仕掛けで、スポーツイベントで仲間との楽しい時間を提供するツールへと進化させたピザ用ケースです。



「ペントアワード2023」を受賞

パッケージデザインの世界的なコンペティション「Pentawards 2023」において、1 作品が金賞を受賞いたしました。

●日本産さつまいも5kg輸出ケース

「日本産」を強くアピールし、日本文化の象徴である「漫画」をモチーフにデザインしました。



共同開発
Wismettacフーズ株式会社様
東京青果株式会社様
株式会社野村総合研究所様

共同開発
日本ピザハット株式会社様

大阪・関西万博の機運醸成、ロゴラッピングトラックを運行

本年2月より、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の開催を来年に控え、より一層の機運醸成を期待して、当社段ボール原紙と段ボール製品を輸送するレンゴーロジスティクス株式会社のトラック45台にロゴデザインを施し、関西・関東・中部地域で運行開始しました。当社グループは、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする大阪・関西万博への期待と関心を高めていただけるよう引き続き協力してまいります。



連結財務諸表

連結貸借対照表 (2024年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
(資産の部)	1,172,515	1,053,138
流動資産	484,196	413,564
現金及び預金	117,588	72,532
受取手形及び売掛金	271,408	242,862
商品及び製品	43,668	43,293
仕掛品	5,563	5,980
原材料及び貯蔵品	35,872	37,980
その他	11,078	11,852
貸倒引当金	△982	△938
固定資産	688,318	639,574
有形固定資産	456,467	422,964
建物及び構築物	137,956	121,933
機械装置及び運搬具	138,828	126,716
土地	135,892	132,570
リース資産	17,909	16,631
建設仮勘定	19,387	19,077
その他	6,493	6,034
無形固定資産	48,408	48,480
のれん	27,075	27,215
その他	21,333	21,265
投資その他の資産	183,442	168,129
投資有価証券	151,144	138,850
長期貸付金	740	548
退職給付に係る資産	5,423	3,385
繰延税金資産	2,414	2,234
その他	24,628	24,037
貸倒引当金	△909	△927
資産合計	1,172,515	1,053,138

科 目	当 期	前 期
(負債の部)	733,537	667,405
流動負債	392,280	368,231
支払手形及び買掛金	152,857	143,950
短期借入金	131,820	134,539
1年内償還予定の社債	5,010	10,110
リース債務	5,512	4,761
未払費用	37,786	33,728
未払法人税等	13,958	5,058
役員賞与引当金	440	274
その他	44,895	35,809
固定負債	341,257	299,174
社債	95,055	80,065
長期借入金	188,061	162,774
リース債務	12,209	12,027
繰延税金負債	30,258	25,793
役員退職慰労引当金	784	812
役員株式給付引当金	800	599
工場移転費用引当金	—	363
退職給付に係る負債	10,928	13,542
その他	3,159	3,195
(純資産の部)	438,978	385,732
株主資本	331,801	305,174
資本金	31,066	31,066
資本剰余金	33,663	33,597
利益剰余金	279,627	252,677
自己株式	△12,556	△12,167
その他の包括利益累計額	93,491	67,621
その他有価証券評価差額金	44,310	35,467
為替換算調整勘定	41,976	28,325
退職給付に係る調整累計額	7,204	3,827
非支配株主持分	13,684	12,937
負債純資産合計	1,172,515	1,053,138



連結損益計算書 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
売 上 高	900,791	846,080
売 上 原 価	725,409	704,161
売 上 総 利 益	175,381	141,918
販売費及び一般管理費	126,526	115,962
営 業 利 益	48,855	25,957
営 業 外 収 益	6,940	7,085
営 業 外 費 用	7,812	4,361
経 常 利 益	47,984	28,682
特 別 利 益	5,683	7,838
特 別 損 失	3,377	5,662
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	50,290	30,857
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	17,988	10,337
法 人 税 等 調 整 額	△1,855	△858
当 期 純 利 益	34,156	21,378
非支配株主に帰属する当期純利益	1,130	952
親会社株主に帰属する当期純利益	33,025	20,425

連結キャッシュ・フロー計算書 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	89,628	46,066
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△76,033	△60,646
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	17,265	20,023
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	1,934	2,463
V 現金及び現金同等物の増減額	32,795	7,906
VI 現金及び現金同等物の期首残高	70,912	57,835
VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	74	5,171
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	103,782	70,912

連結財務諸表

連結株主資本等変動計算書 (自2023年4月1日 至2024年3月31日) (単位：百万円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当 期 首 残 高	31,066	33,597	252,677	△12,167	305,174
当 期 変 動 額					
剰余金の配当			△5,977		△5,977
親会社株主に帰属する 当期純利益			33,025		33,025
自己株式の取得				△910	△910
自己株式の処分		396		521	918
その他		△330	△98		△428
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	66	26,949	△388	26,627
当 期 末 残 高	31,066	33,663	279,627	△12,556	331,801

	その他の包括利益累計額				非支配 株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に 係る調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当 期 首 残 高	35,467	28,325	3,827	67,621	12,937	385,732
当 期 変 動 額						
剰余金の配当						△5,977
親会社株主に帰属する 当期純利益						33,025
自己株式の取得						△910
自己株式の処分						918
その他						△428
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	8,842	13,651	3,376	25,870	747	26,618
当期変動額合計	8,842	13,651	3,376	25,870	747	53,245
当 期 末 残 高	44,310	41,976	7,204	93,491	13,684	438,978



単体財務諸表

貸借対照表 (2024年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
(資産の部)	718,788	647,417
流動資産	244,299	196,131
現金及び預金	49,759	25,018
受取手形及び売掛金	141,554	118,879
商品及び製品	14,032	14,013
仕掛品	179	178
原材料及び貯蔵品	11,160	12,383
その他	27,621	25,663
貸倒引当金	△8	△4
固定資産	474,489	451,286
有形固定資産	186,911	172,203
建物	46,792	37,934
機械装置	58,685	52,701
土地	64,569	64,155
その他	16,864	17,412
無形固定資産	2,675	2,689
投資その他の資産	284,902	276,393
投資有価証券	76,723	68,630
関係会社株式	164,068	167,177
関係会社出資金	31,501	31,528
関係会社長期貸付金	8,675	5,087
その他	4,518	4,582
貸倒引当金	△586	△613
資産合計	718,788	647,417

科 目	当 期	前 期
(負債の部)	508,309	455,424
流動負債	228,827	206,763
買掛金	66,943	67,418
短期借入金	77,727	78,087
1年内償還予定の社債	5,000	10,000
設備関係未払金	19,262	14,181
未払費用	24,580	22,882
未払法人税等	6,923	515
役員賞与引当金	125	81
その他	28,264	13,596
固定負債	279,482	248,661
社債	95,000	80,000
長期借入金	162,264	148,251
繰延税金負債	10,854	8,590
退職給付引当金	9,367	9,535
役員株式給付引当金	800	599
その他	1,197	1,683
(純資産の部)	210,478	191,993
株主資本	176,973	164,699
資本金	31,066	31,066
資本剰余金	34,700	34,303
利益剰余金	123,762	111,495
自己株式	△12,556	△12,167
評価・換算差額等	33,504	27,294
その他有価証券評価差額金	33,504	27,294
負債純資産合計	718,788	647,417

単体財務諸表

損益計算書 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
売 上 高	363,590	344,086
売 上 原 価	288,072	286,153
売 上 総 利 益	75,518	57,932
販売費及び一般管理費	51,390	49,452
営 業 利 益	24,128	8,480
営 業 外 収 益	8,023	8,024
受取利息及び配当金	5,589	5,547
そ の 他	2,433	2,476
営 業 外 費 用	3,845	3,483
支 払 利 息	1,420	1,128
そ の 他	2,424	2,354
経 常 利 益	28,305	13,021
特 別 利 益	4,807	7,125
特 別 損 失	7,131	5,144
税 引 前 当 期 純 利 益	25,980	15,002
法人税、住民税及び事業税	8,185	2,859
法 人 税 等 調 整 額	△449	182
当 期 純 利 益	18,244	11,961

会社の概要



会社の概要 (2024年3月31日現在)

商号	レンゴー株式会社
英文社名	Rengo Co., Ltd.
設立年月日	1920年(大正9年)5月2日 (創業 1909年(明治42年)4月)
資本金	310億6,675万円
上場証券取引所	東京
従業員数	4,345名
主要な事業内容	①段ボール、段ボール箱、 紙器その他紙加工品、 軟包装の製造、販売 ②板紙(段ボール原紙、白板紙等)の 製造、販売
主要な事業所	
本店	大阪市福島区大開四丁目1番186号
本社事務所	大阪市北区中之島二丁目2番7号 中之島セントラルタワー
東京本社	東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス
段ボール工場	26工場
紙器工場	3工場
製紙工場	4工場
セロファン工場	1工場
研究所	1研究所

役員 (2024年6月27日現在)

*取締役会長兼CEO	大川前馬長	坪本	清祐
*取締役社長兼COO	谷川上	本場	祐明
*取締役兼副社長執行役員	井佐	田場	博郎
取締役兼副社長執行役員	奥玉	川上	登士
取締役兼副社長執行役員	住橋	藤	雄之
取締役兼副社長執行役員	正常	岡田	る一
取締役兼副社長執行役員	藤浜	本住	研む
専務執行役員(上席)	三堀	陰野	均純
専務執行役員(上席)	岡本	野本	浩美
専務執行役員(上席)	尾西	部	史男
常務執行役員(上席)	古望	野松	次典
常務執行役員(上席)	森柴	崎	純拓
常務執行役員(上席)	本柏	田月	諭伸
常務執行役員	衣安	塚崎	仁彦
常務執行役員	小安	本庄	之二
執行役員(上席)	山島	木斐	稔実
執行役員	戸島	安井	信仁
執行役員	佐田	井島	伸之
執行役員	熊下	井島	子保
執行役員	前田	藤田	

(注) 1. *印は、代表取締役です。
2. 取締役 佐藤義雄、奥正之、玉岡かおる、住田功一の各氏は、社外取締役であります。
3. 監査役 常陰均、藤野正純、浜本光浩の各氏は、社外監査役であります。

会社の概要

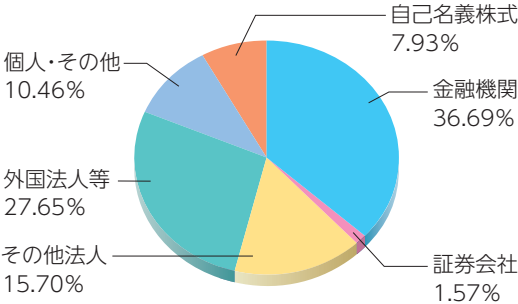
株式の状況 (2024年3月31日現在)

発行済株式の総数 271,056,029株
株主数 29,010名
大株主(上位10名)

株 主 名	持株数(千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	30,433	12.2
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	21,960	8.8
株式会社三井住友銀行	9,562	3.8
住友生命保険相互会社	6,808	2.7
農林中央金庫	5,965	2.4
GOVERNMENT OF NORWAY	4,609	1.8
レンゴー社員持株会	4,522	1.8
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	4,278	1.7
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	3,718	1.5
株式会社ヤクルト本社	3,326	1.3

(注) 1. 当社は自己株式を21,482千株保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



	株数(千株)	比率 (%)
金融機関	99,458	36.69
証券会社	4,246	1.57
その他法人	42,565	15.70
外国法人等	74,960	27.65
個人・その他	28,341	10.46
自己名義株式	21,482	7.93



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
公告の方法	その他必要のある場合は、あらかじめ公告して定めた日 当社のホームページに掲載する。 https://www.rengo.co.jp/
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031 (受付時間 9:00～17:00 土日休日を除く)
ホームページ	https://www.smb.jp/personal/procedure/agency/
単元株式数	100株
証券コード	3941

株式のお手続きに関するお問い合わせ先について

お問い合わせの内容	証券会社等の口座に記録された株式 (一般口座)	特別口座に記録された株式
・住所、氏名等の変更 ・単元未満株式の買取・買増請求 ・配当金の振込指定 ・相続	お取引の証券会社等	三井住友信託銀行
・一般口座への振替		
・支払期間経過後の配当金に 関するお問い合わせ	三井住友信託銀行	



本社事務所 〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-7 中之島セントラルタワー
東京本社 〒108-0075 東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス

<https://www.rengo.co.jp/>